

みんぱく創設50周年記念

企画展「水俣病を伝える」



人さまは変えられないから、
自分が変わる。

杉本榮子

「分からない」と突き放すのも、

「要するにこうゆうこと」と

単純化して捉えるのも、思考停止の状態だ。

だったら、徹底的に向き合おうじゃないの。

小泉初恵

僕は水俣で人間にしてもらったんです。

芥川仁

ふだんはとても気のいいおじさんお婆さんですね。

田舎のおじさんお婆さん。

それがやっぱり追い詰められて、本気になると、

こんなことまでするんだっていうエネルギーをもっている人たちですね。

そんな人たちのことを伝えたいなあと。

吉永利夫

今日ただいまから、

私たちは国家権力に対して、

立ちむかうことになったのでございます。

渡辺栄蔵

熱意とはことある毎に

意志を表明することに他ならない。

川本頼夫

敵が目の前にいても

たたかわない者は、

もともと

たたかうつもりなど

なかった者である。

本田啓吉

本当の中立は弱い立場の側に立つこと。

原田正純

先生はすぐ

自分の課題として

受けとめると言うけど、

水俣病事件なんか

自分の課題になるわけないんだよ。

遠藤邦夫

A Thematic Exhibition for the 50th Anniversary of the Museum's Founding

Conveying the realities of the Minamata disease

2024.3.14[木]—6.18[火]

会場：国立民族学博物館 本館企画展示場

主催：国立民族学博物館

協力：一般社団法人水俣病を語り継ぐ会

一般財団法人水俣病センター 相思社

後援：環境省、熊本県、水俣市



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology



水俣病の発見から70年近くがたちました。現在、熊本県水俣・あしかた芦北地域では、展示やガイドツアー、写真、語り部講話などを通じ、水俣病の歴史や被害者の苦しみ、公害の経験をいかしたまちづくりなどを伝える活動がさかんです。どのような人がこの活動をしていて、そこにどういった思いがあるのでしょうか。言葉やモノ、映像、場所はどうか活用されているのでしょうか。本展では、水俣病を伝える活動の魅力と、そこから学べるものの可能性を探ります。

企
画
展
「
水
俣
病
を
伝
え
る
」

み
ん
ば
く
創
設
50
周
年
記
念

関連イベント

※イベントに関する詳細はホームページをご覧ください。

●みんぱくゼミナール

「水俣病を伝える」

3月16日(土) 13:30~15:00

講師:永野三智((一財)水俣病センター相思社常務理事)

●みんぱくウィークエンド・サロン —— 研究者と話そう

「企画展「水俣病を伝える」——

フィールドワーク展示の試み」

3月24日(日) 14:30~15:00 話者:平井京之介(本館教授)

「水俣病を伝える ——

水俣病センター相思社の事例から」

4月28日(日) 14:30~15:00

話者:小泉初恵((一財)水俣病センター相思社職員)

「ネコ実験小屋の修復について」

5月12日(日) 14:30~15:00 話者:日高真吾(本館教授)

●ワークショップ

「水俣の海を感じる ——

語り部講話とシークラス体験」

3月30日(土) 13:00~15:50

講師:吉永理巳子((一社)水俣病を語り継ぐ会代表理事)

吉永利夫((一社)水俣病を語り継ぐ会理事)

平井京之介(本館教授)

●友の会講演会

「企画展「水俣病を伝える」の舞台裏 ——

フィールドワーク展示の試み」

6月1日(土) 13:30~15:00 講師:平井京之介(本館教授)

●みんぱく映画会

「水俣一揆 —— 一生を問う人々」

6月8日(土) 13:00~16:00

解説:吉永利夫((一社)水俣病を語り継ぐ会理事)

ご利用案内

開館時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 水曜日

(3月20日(水・祝)は開館、翌21日(木)は休館)

観覧料 一般580円/大学生250円/高校生以下 無料

※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

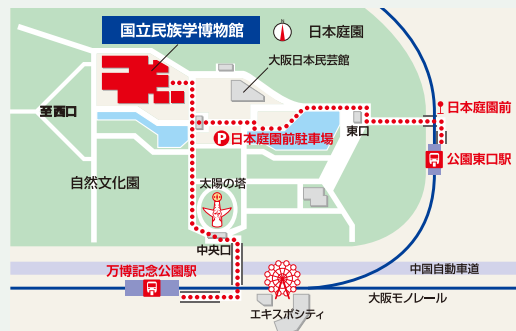
交通のご案内

大阪モノレール 「万博記念公園駅」、
「公園東口駅」下車徒歩約15分

バス 阪急茨木市駅・JR茨木駅から
「日本庭園前」下車徒歩約13分

乗用車 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。
最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

※大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。※高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことを申し出いただき、通行証をお受け取りください。※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代) Fax: 06-6875-0401
https://www.minpaku.ac.jp/

